

2018年度「国際交流基金地球市民賞」 受賞団体決定

小松サマースクール実行委員会（石川県小松市）、一般社団法人グローバル人財サポート浜松（静岡県浜松市）、認定特定非営利活動法人パンゲア（京都府京都市）

国際交流基金は、1985年より国際文化交流を通じて日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、相互の知恵やアイデア・情報を交換し、ともに考える団体に対して「国際交流基金地球市民賞」（以下、地球市民賞）を贈呈しています。

このたび、第34回となる**2018年度の受賞団体に、小松サマースクール実行委員会（石川県小松市）、一般社団法人グローバル人財サポート浜松（静岡県浜松市）、認定特定非営利活動法人パンゲア（京都府京都市）の3団体が決定**しましたので、お知らせします。なお、2月25日、都内にて授賞式を開催しますので、後日ご取材に関する詳細を案内いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

記

2018年度受賞団体

- **小松サマースクール実行委員会**（石川県小松市、代表：ステファン・フシェ 代表理事）
〈若者たちによる若者のための国際交流〉
- **一般社団法人グローバル人財サポート浜松**（静岡県浜松市、代表：堀永乃 代表理事）
〈外国人が地域社会の担い手として活躍できる社会へ〉
- **認定特定非営利活動法人法人パンゲア**（京都府京都市、代表：森由美子 理事長）
〈ICT技術を取り入れて地球市民となる子供たちを育成〉



※次頁以降に、受賞団体の略歴や授賞理由などの詳細を記載しております。

以上

■国際交流基金について（<http://www.jpff.go.jp/j/index.html>）

国際交流基金は世界の全地域において、総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。1972年に外務省所管の特殊法人として設立され、2003年10月1日に独立行政法人となりました。海外に24か国・25の拠点を持ち、「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ」をミッションに掲げ、世界の人々と日本人の間で相互の理解を深めるため、さまざまな企画や情報提供を通じて人と人との交流をつくりだしています。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpff.go.jp

2018年度「国際交流基金地球市民賞」受賞団体

■小松サマースクール実行委員会

【所在地】 小松市福乃宮町 1-36

【代表者】 ステファン・フシエ 代表理事

【設立】 2013年

【ウェブサイト】 <http://komatsu-ss.org/>

＜授賞理由＞

小松サマースクールは2014年より石川県小松市で毎年開催されている大学生による高校生のためのサマースクールで、日米の大学生が企画や運営のほぼ全てを行っている。地元と全国から集まる高校生60人は、英語でのリベラルアーツセミナー、社会人フォーラム、小松の文化体験などのプログラムに参加して相互に交流を深めている。

高校生たちが多様な年代や文化背景を持つ人たちと出会うことで、国際交流の価値に触れる素晴らしい取り組みとなっている。過去にサマースクールに参加した高校生が大学生になって実行委員会に加わるなど、国際交流活動に積極的な若者が地方に育つ好循環が生まれている。地方都市における若者による若者のための国際交流事業として他のモデルとして今後ますます発展していくことを祈念して本賞を授与する。

＜受賞団体のコメント＞

この度は2018年度の地球市民賞に選んでいただきまして誠にありがとうございます。

小松サマースクールがこれまで続けて開催できたのは、運営する日米大学生の教育と国際交流に対する熱い想いと、ご賛同くださる企業や有志の方々のおかげだと感謝しております。これからも多くの高校生が仲間やロールモデルと出会って自分の道を見つけるきっかけづくりを応援したいと思います。『FIND YOUR WAY!』



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

ご報告

■ 一般社団法人グローバル人財サポート浜松

【所在地】 浜松市中区八幡町 23-3F
【代表者】 堀永乃 代表理事
【設立】 2011年
【ウェブサイト】 <http://www.globaljinzai.or.jp/>

＜授賞理由＞

グローバル人財サポート浜松では、独自のカリキュラムや教材を開発し、介護の現場に必要な日本語や技能の指導を行い、定住外国人の就労支援を行なっている。学生の社会貢献活動の支援や、浜松市内の介護事業者の組合活動、浜松が将来就労先として選ばれる街になるよう海外との友好関係を築くなど、多岐にわたる活動をしている。

今般の入国管理法改正により、2019年4月から在留資格が新設され、より多くの外国人が日本で働き、特定技能2号取得者は家族帯同ができるようになる。外国人受け入れの環境整備はこれからの課題であり、同団体の取り組みは、その先行事例であり、かつ、日本人が外国人を支援するというよりも外国人が担い手として活躍できる社会を指向している点を高く評価し、本賞を授与する。

＜受賞団体のコメント＞

この度は、「2018年度地球市民賞」を受賞させていただくことになり、誠にありがとうございました。名誉ある賞の受賞を大変光栄に思います。

思い起こせば、これまで多くの皆様にご心配をおかけし、いつも暖かく励まされ、応援していただきました。設立当時は不安しかなく、本当に活動を続けていけるのだろうかと悩む日々でした。しかしながら、介護の資格を取得した外国人や自分の居場所のように事務所を訪れる大学生の笑顔に支えられ、今日まで駆け抜けることができました。

今年、新たに入管法が改正され、まさに時代の波が追い風になっているように感じております。この賞の受賞により、当法人が日本社会に少しでも貢献できる機関として多くの方々に認知され、また全国の皆様に当法人を育てていただければ幸いです。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

ご報告

■ 認定特定非営利活動法人パンゲア

【所在地】 京都市下京区寺町通高辻下る京極町 509 象ビル 301

【代表者】 森由美子 理事長

【設立】 2003年

【ウェブサイト】 https://www.pangaean.org/web/japanese/general/generaltop_jp.html

＜授賞理由＞

パンゲアは、ICT(情報通信技術)を使い、世界中の子どもたちが出会い、コミュニケーションできるプラットフォームを運営してきた。世界各地の活動拠点に子どもたちが集まり、他の拠点とウェブでつなげてゲームをしたり、作品を作ったりするアクティビティやサマースクールを開催している。

興味深いのは、共通言語を押し付けるのではなく、ピクトンという450種類にもおよぶ絵文字を使用していることである。複数言語に同時に翻訳できる機械翻訳「げんごろう」も利用している。使用言語による序列化を起こさない姿勢を貫き、相手を思いやる態度が醸成される仕組みになっている。

ICT技術を駆使して相手を思いやる態度が醸成されるコミュニケーションツールを開発してきた先進的な国際交流活動を高く評価し、今後ますますの発展を願って本賞を授与する。

＜受賞団体のコメント＞

私たちは、2003年からワークショップやICTツールを独自に開発し、国・民族・文化・宗教・経済状況・社会状況などに依らず、多様性を楽しみ、相手の立場にたって物事を考えられる「こども地球市民」の育成を草の根で実践してきました。世界中の多くのボランティアや支援者などの個人の貢献と、企業や研究機関・教育機関などの団体との連携によって継続しています。今回の大変光栄な受賞を糧に、本活動をもっと世界規模に持続可能な展開をしていきたいです。ありがとうございました。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp